

令和3年2月26日

大津町長 金田 英樹 様

大津町介護保険事業計画等策定委員会
委員長 樽美 光一

第8期大津町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定について
(答申)

令和2年8月20日付け大介第1214号で諮問があった標記のことについて、本策定委員会で慎重に審議し、別紙のとおりとりまとめ、ここに答申いたします。

本町の人口は近年も増加してきましたが、年齢区分別にみると高齢者人口がその中心となっています。また、今後も人口増加が続く予測をしていますが、引き続きその中心は高齢者人口であり、0-39歳、40-64歳人口は横ばいに推移すると予測しています。しかも今後は、75-84歳人口の増加、また令和12年以降は85歳以上人口が増加すると予測しており、要支援・要介護認定者が急激に増加する可能性があると考えます。

よって、本町の令和22年(2040年)の姿は、今とほぼ同じ生産年齢人口で増加した高齢者を支えることになると予想しています。

令和22年(2040年)に備え、高齢者の社会参加の促進や生きがいづくり及び介護予防を推進し、できる限り在宅生活が継続できるように高齢者やその家族を地域で支え合うまちづくり及び介護保険事業の円滑な運営と充実を今から強化して取り組むことが必要不可欠です。

本答申では、以上のことを鑑み、4つの基本目標に従って様々な施策について提言をし、次の施策を主要施策として位置づけました。

- 高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりを推進し、地域づくりを担う人材の育成や活躍の場を充実させるとともに、健康寿命の延伸に力を入れる「①生涯現役社会の充実」
- 「②認知症になっても安心して暮らせる体制の構築」、「③在宅で安心して暮らし続けるための医療と介護の連携・在宅医療基盤の充実」、「④多様な住まい・サービスの整備促進」を図ることで加速させる「⑤地域包括ケアシステム構築の推進」
- 介護を必要とする人へのサービス提供基盤を充実させるとともに、介護保険制度の持続可能性の確保に向けて取り組む「⑥介護人材の確保とサービスの質の向上」
- これからの時代に対応するために強化する「⑦防災と感染症対策」

以上の施策を重点的に展開し、本計画の基本理念である『**高齢者が生きがいをもって、健康で安心して暮らすことができるまち**』の実現に取り組んでくださるよう要望いたします。